

令和２年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

夢をかたちに (*Scale up your Dream, and Build up your Future.*)

* 生徒が自らの進路に夢や希望を抱き、高い志を持ってその実現に向けて必要な力を身に付けるとともに、地域社会に積極的に参画し貢献できる人材を育成する学校をめざす。

【生徒に育みたい力】 日根野高等学校 校訓「自立・共生・友愛」

- 1 高校三年間の様々な体験的学習を通し、発見・驚き・感動を自信に繋げ、将来の夢を見定め実現していく力。
- 2 地域社会の発展に寄与するための高い志を持ち、自らを律し社会人として自立する力。[自立]
- 3 異文化や異なる価値観を理解し、身の周りから世界に至るまでの様々な人々と共生できる力。[共生]
- 4 ボランティア活動等の実践を通し、基本的人権を尊重し社会に奉仕貢献できる力。[友愛]

2 中期的目標

1. 将来の夢を自ら見定め、自立・実現していく力を育む

- (1) わかる授業、進路実現を見据えた授業をめざし、授業力向上に取り組む。
 - ア、相互授業観察、研究授業、授業アンケートの効果的活用を行い、授業力向上に取り組む
 - イ、主体的・対話的で深い学びを実現するため、ICT等を活用しコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を開発する授業を研究・推進する。
 - ウ、泉佐野市や地元大学等と連携し、出前授業など外部人材を活用し、専門コースに合わせた体験的授業（看護医療・保育）を推進する。
 - エ、語学教育、歴史教育や政治的教養、読書活動など多様で体験的な学習機会を通じ、異文化や異なる価値観への理解を深め、幅広く自らの進路選択に繋げる。
 - ※自主学習時間の増加（今後3年間で2時間以上(H29 92分、H30 83分、R01 75分)を目標とする)
 - ※生徒向け学校教育自己診断における「ICTを活用した教材や授業への満足度」（今後3年間で90%以上(H29 95%、H30 97%、R01 86%)を目標とする)
 - ※生徒向け学校教育自己診断における「プレゼンテーション能力が十分に身についたとする肯定的回答」（毎年2%ずつ引き上げ令和4年度には74%(H29 58%、H30 74%、R01 68%)にする)
- (2) 特色ある専門コースを持つ普通科高校として、自己実現性の高い進学を志向する。
 - ア、新学習指導要領と高大接続改革を踏まえ、生徒のニーズに適合する選択的で専門的なカリキュラム編成を行う。
 - イ、コースや科目選択時の生徒の満足度をあげるとともに、専門コースを選択する生徒の比率40%を目途にバランス良くガイダンスする。
 - ウ、世界を相手に飛翔するグローバル人材、国際感覚を身につけて地域社会に貢献するグローバル人材をバランス良く輩出する。
 - エ、もっと入りたい学校へ。特色ある教育活動を実施すると共に、広報活動を積極的に行い、本校のアドミッションポリシーに合致した入試志願者を安定確保する。
 - ※生徒向け学校教育自己診断における「専門コース選択・科目選択に関する満足度」（今後3年間で90%以上(H29 83%、H30 88%、R01 87%)を目標とする)
 - ※生徒向け学校教育自己診断における「ガイダンスに関する満足度」（90%以上(令和元年度:92%)維持する)
 - ※国公立大学・難関私立大学（関関同立・近・関西外大）進学者数（今後3年間で40名以上(H29 27名、H30 20名、R01 13名)を目標にする)
 - ※児童保育系進学者数、看護医療系進学者数（児童保育系は今後3年間で40名以上(H29 21名、H30 22名、R01 24名)を目標とし、看護医療系は50名以上(H29 45名、H30 58名、R01 68名)を維持する)
 - ※生徒向け学校教育自己診断における「選択した科目が進路実現に役立った」（80%以上(令和元年度:80%)を維持する)
 - ※入試志願者倍率（H29 1.19倍、H30 1.21倍、R01 今後3年間で1.2倍以上を目標にする)
- (3) 進路に夢や希望を抱き、社会の一員として自立し、その発展に寄与するという高い志を身につける。
 - ア、志学・道徳教育・人権教育・キャリア教育・進路指導を系統的に結合した「ひねのプログラム」を活用し、生徒の学習意欲の向上を図る。
 - イ、分野別進路説明会や進路適正検査・面接試験指導に注力し進路選択のミスマッチを回避、自己の進路実現を図る。
 - ウ、社会保険労務士や司法書士、民間経営者などの外部講師を招聘し、社会人としての心得など、身近な問題に触れ意識付けを図る。
 - ※生徒向け学校教育自己診断における「進路選択やキャリア教育に関する満足度」（90%以上(H29 87%、H30 93%、R01 91%)を維持する)

2. 道徳教育・人権教育を基盤に、地域社会と連携しまた貢献する志と力を育む

- (1) 「いじめ防止基本方針」の実施と道徳教育・人権教育を推進する。
 - ア、「いじめ防止基本方針」に従い、全校でいじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組む。
 - イ、社会性にも繋がる生活習慣の確立、挨拶の励行、他者を思いやる心の育成、善悪の判断ができる意志の育成等を図る。
 - ウ、障がい者・女性・子ども・同和問題・在日外国人・性的マイノリティ等様々な人権に関わる問題の解決をめざした教育を推進する。
 - ※生徒向け学校教育自己診断における「命の大切さや社会のルールを学ぶ機会があった」（今後3年間で90%以上(H29 80%、H30 81%、R01 83%)を目標とする)
 - ※のべ遅刻者数/4-12月（今後3年間で3,000人以下(H29 3,388人、H30 3,584人、R01 3,555人)を目標とする)
- (2) 急速に普及するスマートホンに係るネットと人権侵害理解についての取組みを推進する。
 - ア、スマホの急激な普及によって起こっているインターネット上の諸問題に対し、情報と社会の授業や各学年のHR等で学習し対応に取り組む。
 - イ、保護者への啓蒙活動を研修等により継続するとともに、保護者と教職員とがさらに連携を深め、生徒一人ひとりを大切に人権教育の充実を図る。
 - ※保護者向け学校教育自己診断における「教育相談に関する満足度」（85%以上を維持(H29 84%、H30 83%、R01 87%)する)
- (3) 部活動、学校行事、各種の地域ボランティア活動への参加を通じ、生徒の自己肯定感を高め、互いに認め協力しあう生徒を育成する。
 - ア、生徒会やボランティア部を中心に、生徒主体による地域での社会貢献活動の取組みを推進する。
 - イ、学校周辺の商業施設や学校と連携し、部活動の発信・発表の場を多く設けることで、生徒が社会の一員としての自信と自覚を深め、社会貢献の意義と尊さを理解する。
 - ウ、部活動、学校行事を活性化し、生徒が自主的に活動、運営することにより、自己肯定感を高め、互いに認め合い協力しあう生徒を育てる。
 - ※部活動加入率（今後3年間で75%以上(H29 76%、H30 74%、R01 66%)を目標とする)
- (4) 進路関係の情報など、保護者へ情報提供を積極的に行うと共に、保護者等の意見を教育活動に取り入れる。また、Webページやメール配信で学校の取組みを情報発信する。
 - ・保護者向け学校教育自己診断における「教育活動」に対する満足度について、さらなる向上をめざす。
 - ※保護者向け学校教育自己診断における「教育活動に関する満足度」（今後3年間で85%以上(H29 77%、H30 82%、R01 80%)を目標とする)
 - ※保護者向け学校教育自己診断における「教育情報についての提供努力満足度」（今後3年間で90%以上(H29 83%、H30 87%、R01 88%)を目標とする)

3. 安全安心な学び場をつくり、生徒理解を促進し相談体制を充実させる

- (1) 全教職員が、障がいのある生徒への理解を深めつつ自立を支援する合理的配慮やケアを行い、スクールカウンセラーとの効果的な連携を図る。
 - ・「生徒支援カード」をもとに、支援を要する生徒について個別の支援計画を作成し、情報収集と個別の支援内容の検討を行う。
- (2) 生徒がより相談しやすくするため、地域の福祉医療関係部署等との連携のもと、生徒の相談窓口の複数化と水平連携を行う。
 - ・体罰やハラスメント・ネット被害・ストーカー被害等に係る相談についても相談体制を構築し、生徒に周知徹底する。
 - ※生徒向け学校教育自己診断における「教育相談に関する満足度」（今後3年間で80%以上(H29 69%、H30 75%、R01 72%)を目標とする)
- (3) 事故等の予防と防止、防災対策に取り組む。
 - ア、感染症、薬物中毒、食中毒等の予防や防止、講習会等の実施などにより熱中症や食物アレルギー等による事故防止に取り組む。
 - イ、地震や台風などの自然災害に備え、防災対策に取り組むと共に、災害時等緊急時に学校の状況を迅速に保護者に発信する。
 - ※生徒向け学校教育自己診断における「防災に関する訓練や災害への備えに関する満足度」（今後3年間で80%以上(新規)を目標とする)

府立日根野高等学校

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和2年11月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【学習指導等】生徒アンケートでの ICT 機器活用「プロジェクターを有効に活用した授業が行われている」の肯定的回答は 89%で昨年度より2ポイントアップした。今年度で全ての教室のプロジェクターの更新が終わり、明るさをはじめとしてさまざまな面で機能アップされた。来年度は GIGA スクール構想で生徒一人1台の端末が導入される予定であり、さらなる活用が求められる。</p> <p>また生徒アンケートによる「自分が選択した科目は進路を実現する力をつける上で役に立った」の肯定的回答は昨年度より1ポイント減少。この設問については3年生のみを対象としているが、本校はさまざまな進路希望の生徒がいるが、それぞれの進路希望に対応した授業をさらに研究していく必要がある。</p> <p>【生徒指導等】生徒向けアンケートで「先生の指導は納得できる」の肯定的回答は 73%で昨年度より3ポイントアップした。今年度は装飾品指導においてより厳しい指導を行ったが、生徒たちは一定の理解をしていると考える。同じ設問の保護者向けアンケートにおいても6ポイントアップすると共に記述回答では頭髪服装指導をもっと厳しくという声も複数あり、今後も規律を守る指導を続けていくべきだと考える。</p> <p>【学校運営等】生徒アンケート「学校行事は楽しく行えるよう工夫されている」の肯定的回答は 73%で昨年度よりも1ポイントダウンした。修学旅行が中止となった2年生において 23%のダウンであったが、その後代替行事等を行い生徒たちの生き生きとした姿を見ることができた。保護者アンケート「保護者懇談以外の授業参観や学校行事のために日根野高校に行ったことがあるは 54%で昨年度より 15 ポイントダウンした。これはコロナ対策で授業参観や学校行事、PTA 活動が中止になったためである。来年度コロナの状況がどうなるのか不明であるが、教育活動を公開する機会を積極的に設けていきたい。</p>	<p>【第1回（5月22日実施）】 授業も大切だが、生徒が自主的に活動をする文化祭、体育祭等の学校行事も大切なので、授業日数の確保などもあるだろうが、工夫して欲しい。 高校でもオンライン授業を行う必要がある可能性はあるが、資料を閲覧したりするにはスマホの画面では厳しいので、できればタブレットやパソコンを使ったほうが良い。 マスクや消毒液など感染予防の物品を確保し、感染症対策をしっかりと行ってほしい。 3年生は特に成績やさまざまな活動とともに、入試がどうなるかわからず不安に思っていると思うので、学校から適切な情報を流してほしい。</p> <p>【第2回（10月2日実施）】学校行事の中止などによる生徒の心のケア、生徒同士の友好関係を築く機会を提供してほしい。授業時数の確保はできているか。 また、夏休みはもう少し長くあるべきだったのではないかと。学校で一番感染リスクが高いのは食事のときであるので、手指消毒など感染症対策を講じるとともに、徹底させてほしい。</p> <p>【第3回（1月22日実施）】 GIGA スクール構想で ICT 機器を有効に活用していく必要があるが、教員の年齢層の高い教員等 ICT 機器の活用をあまり得意としない教員のスキルアップをはかるために、若手教員などが研修の講師となったり、OJT で若手教員から学ぶ機会を増やしたりする必要がある。経験年数にかかわらずお互いが学びあうという姿勢を持つ必要があるだろう。 生徒がコロナ陽性や濃厚接触者などになった生徒が偏見や差別を受け、学校に行きづらくなったりしないよう、日ごろから生徒たちへの指導を行うとともに、そういう悩んだ生徒が相談を受ける窓口を作って欲しい。 来年度も感染症対策を取りつつ学校教育活動を行っていくことになるだろうが、部活動や行事等はできるだけ実施し、生徒たちの意見も取り入れながら行って欲しい。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 将来の夢を自ら見定め、自立・実現していく力を育む	<p>(1)わかる授業、進路実現を見据えた授業をめざし、授業改善に取り組む。</p> <p>(2) 特色ある専門コースを持つ普通科高校として、自己実現性の高い進学を志向する。</p>	<p>(1)ア. 相互授業観察、研究授業、授業アンケートの効果的活用などを積極的に行い、授業力向上に取り組むと共に、生徒が授業を大切にし、自主学習習慣を身につけるよう指導する。 自習・講習・模試検定の「場」を拡大し、ひねのプログラム運用により生徒の自主学習の状況確認を継続する。</p> <p>イ. ICT 教材や設備を活用し、コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力の開発授業を研究・推進する。反転学習やペアワーク等の導入を推進し、生徒の発話機会を拡大させ、コミュニケーション能力の向上に繋ぐ。</p> <p>ウ. 実践的な専門演習を継続し、地域連携強化のもと、外部人材のプロ精神と技術を体験的に学習する。</p> <p>エ. 語学、歴史教育や政治的教養、読書活動など多様な体験的な学習機会を通じ異文化や異なる価値観への理解を深め、幅広く自らの進路選択に繋げる。</p> <p>(2)ア. 新学習指導要領と高大接続改革を踏まえ、選択性と専門性を兼ね備え、生徒のニーズに適合したより選択的なカリキュラム編成を行うとともに、それを的確にガイダンスする。</p> <p>イ. コース選択時の生徒満足度を上げるとともに、特色ある専門コース選択をする生徒へのガイダンスをバランス良く行う。</p> <p>ウ. 世界を相手に飛翔するグローバル人材、国際感覚を身につけて地域社会に貢献するグローバル人材をバランス良く輩出する。 高い志を持ち、夢を実現させるために、授業力向上の取り組みを充実させると共に、「ひねのプログラム」の内容を充実させる。</p> <p>エ. 「もっと入りたい学校」に向けて、特色ある教育活動を実施すると共に、広報活動を積極的に行い、入試志願者を安定確保する。</p>	<p>(1)ア. 授業アンケート結果による授業満足度 80%以上を目標 (R01 78%)、自主学習時間 90 分を目標とする。 (R01 75 分)</p> <p>イ. 生徒向け学校教育自己診断における「ICT 活用授業を行った教員への満足度」88%以上を目標 (R01 86%)、「プレゼンテーション能力向上満足度」70%以上を目標 (R01 68%)。</p> <p>ウ. 地元医療機関やこども園等での体験活動を継続する。</p> <p>エ. ビブリオバトル大会を学校全体で推進する。</p> <p>(2)ア. 生徒向け学校教育自己診断における「コース・科目選択に関する満足度」88%以上を目標 (R01 87%)、「ガイダンスに関する満足度」90%以上を維持 (R01 92%)</p> <p>イ. 専門コース選択比率目標 40%、アドバンス人文社会 15%以上 (R01 10%)、子どもみらい 10%以上 (R01 4%)、看護メディカル 15%以上 (R01 20%)を目標</p> <p>ウ. 国公立大学・難関私立大学(開関同立+近+関西外)の合格者数 30 名以上 (R01 13)を目標、児童保育系合格者数 30 名以上 (R01 24)を目標、看護医療系合格者数 50 名以上 (R01 68)を維持 大学入試共通テスト受験者数 30 名 (R01 24 名)、生徒向け学校教育自己診断における「選択した科目が進路実現に役立った」80%以上を維持 (R01 80%)</p> <p>エ. 入試志願倍率 1.15 倍以上を目標 (R01 1.12 倍)</p>	<p>ア. 第1回授業アンケート結果による授業満足度(9項目トータル肯定的回答)82%、毎月意識調査の実施、自主学習時間の平均 108 分(12月まで)(◎)</p> <p>英語検定 33 名受験(合格者 2級 5名、準2級 10 名 3級 1名)、P 検 (ICT プロフィシエンシー検定試験) 44 名受験(3級 31 名合格)</p> <p>次年度は特に英語に関する検定試験の受験を促し、受験者、合格者の増加をめざす</p> <p>イ. 生徒向け学校教育自己診断における「ICT 活用授業を行った教員への満足度」89%、「プレゼンテーション能力向上満足度」64%(コロナ禍ではあったが国語や情報の授業でビブリオやプレゼンの取組実施)(○) プロジェクターの更新(全教室)、プロジェクターおよびパソコンを活用した授業の実施等</p> <p>次年度は GIGA スクール構想で整備された Wi-Fi 環境や今後整備されるタブレット等を活用した授業の研究、推進に取り組む</p> <p>ウ. 看護体験については受入なく実施できず。子ども園での体験は夏季休業中に5名および12月3年授業での体験実施(○)</p> <p>エ. ビブリオバトルの取り組みについては1年授業で実施(○) 図書オリエンテーションの実施(1年)、図書だよりの発行(3回)、図書委員会の実施(5回)等読書活動の推進</p> <p>ア. 生徒向け学校教育自己診断における「コース・科目選択に関する満足度」89%、「ガイダンスに関する満足度」85%(○) 新カリコミの立ち上げ、R03 および R04 教育課程の検討</p> <p>次年度は新学習指導要領のもとでの、観点別学習状況評価の実施に向けて試行等を実施</p> <p>イ. 専門コース選択比率 33%(看護 19% 46 人、子ども 4% 10 人、アド 10% 23 人)(△) 1年コース科目選択説明会、2年選択科目説明会等の実施</p> <p>次年度は進路希望とコース選択の関連性について説明すると共に、コースの特色ある取り組みについても紹介する</p> <p>ウ. 国公立大学・難関私立大学(開関同立+近+関西外)の合格者数 41 名、児童保育系合格者数 16 名、看護医療系合格者数 70 名 大学入試共通テスト受験者数 11 名、生徒向け学校教育自己診断における「選択した科目が進路実現に役立った」79%(○)</p> <p>次年度はさらに進路希望調査を元に個別の声掛けおよびサポートを行うことにより、より高い希望進路を持たせ、その実現に向けて取り組ませる</p> <p>エ. 入試志願倍率は今後 オープンスクール実施 363 名(生徒 253 名保護者 110 名)、中学生による個別高校訪問(22 名)、中学生保護者への説明会(1中学)、学校説明 TV 放映(TV 岸和田・J-com)、Web での学校説明映像</p>

府立日根野高等学校

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>1 将来の夢を自ら見定め、自立・実現していく力を育む</p>	<p>(3)進路に夢や希望を抱き、社会の一員として自立し、その発展に寄与するという高い志を身につける。</p>	<p>(3)ア、「ひねのプログラム」を活用し生徒の学習意欲の向上を図るとともに、志学と道德教育、キャリア教育教材の質を高め共通化することで教員の働き方改革に取り組む。</p> <p>イ. 分野別進路説明会や進路適正検査・面接試験指導に注力し進路選択のミスマッチを回避する。</p> <p>ウ. 社会保険労務士講座、司法書士講座等、外部人材を活用し、進路実現に繋げる。</p>	<p>(3)ア、生徒向け学校教育自己診断における「進路選択やキャリア教育に関する満足度」90%以上を維持(R01 91%)、教職員ストレスチェック結果「学校ストレスチェックの総合リスク値の改善」100以下を目標(R01 105)</p> <p>イ、「キャリアガイダンスセンター来室者数拡大」1800名以上を目標/4-12月(R01 1618名)</p> <p>ウ、キャリアサポート団体等との連携活動を行う。</p>	<p>ア. 生徒向け学校教育自己診断における「進路選択やキャリア教育に関する満足度」92%、教職員ストレスチェック結果「学校ストレスチェックの総合リスク値」91(◎)</p> <p>進路意識調査の実施(毎月)、総合学習通信の発行(毎月)、担当者会議(主担および各学年担当)を毎週実施し、内容の精選および教材の共通化</p> <p>イ. キャリアガイダンスセンター来室者数 1461名(○)</p> <p>分野別進路説明会の実施(3年)、面接試験指導の実施、12年進路ガイダンス(11月実施)等</p> <p>ウ. 看護メディカルコース特別授業、子どもみらいコース「CSP講座」の実施(保育実習前のコミュニケーション手法や効果的な褒め方を学ぶ)2年および3年で実施、人権学習等にて外部講師派遣(○)</p>
<p>2 道德教育・人権教育を基盤に、地域社会と連携しまた貢献する志と力を育む</p>	<p>(1)「いじめ防止基本方針」の実施と道德教育を推進する。</p> <p>(2)急速に普及するスマートフォンに係るネットと人権侵害理解についての取り組みを推進する。</p> <p>(3)部活動、学校行事、各種の地域ボランティア活動への参加を通じ、生徒の自己肯定感を高め、互いに認め協力しあう生徒を育成する</p> <p>(4)進路関係の情報など、保護者へ情報提供を積極的に行うと共に、保護者等の意見を教育活動に取り入れる。また、Webページやメール配信で学校の取組を情報発信する</p>	<p>(1)ア、「いじめ防止基本方針」に従い「いじめ防止対策委員会」を立ち上げ、年間計画に沿って実施する。</p> <p>イ、社会性に繋がる生活習慣の確立、挨拶励行、他者を思いやる心の育成、善悪の判断ができる意志の育成。生活習慣の確立のため、特に1年生への指導を徹底すると共に、2・3年生へは進路意識の醸成と共に、授業を大切にすることを付けさせる</p> <p>ウ、障がい者・女性・子ども・同和問題・在日外国人・性的マイノリティ等様々な人権教育を行う。</p> <p>(2)ア、インターネット上の諸問題(ツイッター、ライン等)の事例を多く取り上げ、現実性をもたせながら指導する。情報と社会授業や各学年HR等で、その問題に対する取組を継続する。</p> <p>イ、保護者への啓蒙活動も含め、家庭・学校間の連携を深めた人権教育を展開する。</p> <p>(3)ア、生徒会やボランティア部を中心とした生徒主体による地域での社会貢献活動の取組を推進する。 ・OSAKA あいさつ運動の実践</p> <p>イ、学校周辺の商業施設や学校と連携し、部活動の発信発表の場を多く設けることで、社会貢献の意義や尊さを理解する。部活動加入率を上げるために、新入生歓迎会の内容を充実させる。 ・吹奏学部(小中大での訪問演奏・合同演奏、商業施設でのタイアップ演奏等) ・美術部(商業施設や文化施設での展示発表) ・茶道部(商業施設での国際交流連携)</p> <p>ウ、部活動、学校行事を活性化し、生徒が自主的に活動、運営することにより、自己肯定感を高め、互いに認め合い協力しあう生徒を育てる。</p> <p>(4)保護者向け学校教育自己診断において、教育活動に対する満足度を更に向上させる。保護者向け学校教育自己診断回収率を高めるために、実施時期および配布方法を工夫する。 ・学校情報のWebページやメール配信での発信。 ・学校自己診断や授業アンケートの分析、活用。</p>	<p>(1)ア、生徒向け学校教育自己診断における「命の大切さや社会のルールを学ぶ機会があったに関する満足度」85%以上を目標(R01 83%)</p> <p>イ、延べ遅刻者数3,300人以下を目標/4-12月(R01: 3,555人)</p> <p>ウ、人権学習のひねのプログラムへの組込みを行う。</p> <p>(2)ア、様々なマイノリティへの理解を深める教育を行う。生徒向け学校教育自己診断における「命の大切さや社会のルールを学ぶ機会があったに関する満足度」85%以上を目標(R01 83%)</p> <p>イ、保護者向け学校教育自己診断における「教育相談に関する満足度」85%以上を維持(R01 87%)、保護者向け人権学習会の開催1回(R01 1回)</p> <p>(3)ア、日根野駅前、近隣商業施設等において、OSAKA あいさつ運動などを実践する。</p> <p>イ、部活動加入率70%以上を目標(R01 66%)</p> <p>ウ、生徒向け学校教育自己診断における「学校行事は楽しく行えるように工夫されている」の肯定的回答75%以上を目標(R1 73%)</p> <p>(4)保護者向け学校教育自己診断における「教育活動に関する満足度」の肯定的回答82%以上を目標(R01 80%)、「教育情報についての提供努力満足度」の肯定的回答90%以上を目標(R01 88%)</p>	<p>ア. 生徒向け学校教育自己診断における「命の大切さや社会のルールを学ぶ機会があったに関する満足度」78%(△)</p> <p>いじめ防止対策委員会の実施(5回)、いじめアンケートの実施(2回)</p> <p>次年度もHRや授業、学校行事の場で意識を高めていく</p> <p>イ. 遅刻者数2948人(1年531人、2年901人、3年1516人)(◎)</p> <p>生指週間(身だしなみ指導、挨拶運動)の実施、装飾品預かり指導等の実施</p> <p>ウ. 人権学習HRの実施(1年情報モラル2年LGBT・コロナ3年同和問題・就職差別)、人権映画鑑賞(1年)、障がい者理解体験型講演(3年)、在日外国人関係講演(2年)の実施、学校生活と人権に関するアンケート実施、分析(1年1学期)、人権啓発読書感想文発表会の実施(1年)、大阪府人権作文コンクール優秀賞受賞(○)</p> <p>ア. 生徒向け学校教育自己診断における「命の大切さや社会のルールを学ぶ機会があったに関する満足度」78%(△)</p> <p>次年度は総合的な探究の時間やHRでの取り組みをさらに充実させる</p> <p>イ. 保護者向け学校教育自己診断における「教育相談に関する満足度」86%、PTA・職員合同人権研修(SNS関係)の実施(○)</p> <p>ア. ペットボトルキャップ回収運動(ボランティア部)、校外清掃活動の実施(保健委員)、ピンクリボンまつりボランティア30名参加(◎)</p> <p>イ. 部活動加入率(66%)(コロナ禍の影響で1年の加入率低)(一)</p> <p>吹奏楽部リモート演奏(休校中)、新入生歓迎会(部活動紹介映像)、With コロナ研修の実施、各運動部代替大会等への出場、ダンス部校内発表会、吹奏楽部校内発表会等の実施</p> <p>次年度は1年生に対し早期に部活動への加入を勧め、加入率のアップをめざす</p> <p>ウ. 生徒向け学校教育自己診断における「学校行事は楽しく行えるように工夫されている」の肯定的回答73%(○)</p> <p>コロナ対応のため文化祭中止、体育祭10月実施、修学旅行、文化祭代替行事の実施(○)</p> <p>次年度は感染症対策を行いつつ、学校行事等も可能な限り実施する</p> <p>(4)保護者向け学校教育自己診断における「教育活動に関する満足度」の肯定的回答80%、「教育情報についての提供努力満足度」の肯定的回答87%(△)</p> <p>欠席連絡を電話に加えフォーム作成ツールの活用、学校教育自己診断の保護者向けについても、フォーム作成ツールを用い回答率が上昇</p> <p>次年度はさらにさまざまなツールを活用し情報発信および効果的なアンケート処理等を行い学校運営に活かす</p>

府立日根野高等学校

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
生徒理解を促進し相談体制を充実させる 3 安全安心な学びの場をつくり、	<p>(1) 全教職員が、障がいのある生徒への理解を深めつつ、自立を支援する合理的配慮やケアを行い、スクールカウンセラーとの効果的な連携を図る。</p> <p>(2) 生徒がより相談しやすくするため、地域の福祉医療関係部署との連携のもと、生徒の相談窓口の複数化と水平連携を行う。</p> <p>(3) 事故等の予防と防止、防災対策に取り組む。</p>	<p>(1) 生徒支援カードをもとに、支援を要する生徒について支援計画を作成し、情報収集と個別の支援内容を検討する。</p> <p>(2) 体罰・ハラスメント・ネット被害・ストーカー被害等に係る相談体制を構築し、生徒に周知徹底する。</p> <p>(3) ア、感染症、食中毒、薬物中毒の予防や防止、熱中症や食物アレルギー等による事故防止に取り組む。</p> <p>イ、地震や台風などの自然災害に備え、防災対策に取り組む。</p>	<p>(1) 生徒支援カードを作成、有効活用しさまざまな支援を行う。また、特に支援が必要な生徒に対しての個別の支援計画を作成し、計画的に支援を行う。</p> <p>(2) 生徒向け学校教育自己診断における「教育相談に関する満足度」75%(R01 72%)</p> <p>(3) ア. うがい手洗いの啓発ポスターやチラシの掲示・配布、薬物乱用防止教室、熱中症予防講習等の実施</p> <p>イ. 生徒向け学校教育自己診断における「防災に関する訓練や災害への備えは十分である」の肯定的回答 70%以上(新規)</p>	<p>(1) 中学校訪問と共に生徒支援カードより情報収集を行い、支援を要する生徒に対して支援。必要生徒には個別の支援計画を作成し支援。2年生で1名介助が必要な生徒あり、介助員を配置(○) SCの活用(1回)、教育相談支援委員会会議の実施(10回)、教育相談会議の実施(5回)</p> <p>(2) 生徒向け学校教育自己診断における「教育相談に関する満足度」71%(△) 「いじめ、セクハラ、体罰等」についてのアンケート実施、相談窓口の周知(7月実施)、セクハラアンケートの実施(7月配布、生徒・教職員対象) 次年度はさらに教育相談窓口等の情報提供および個別に生徒への声掛けを行う</p> <p>(3) ア. コロナ対策の手洗い励行、ソーシャルディスタンス確保等のチラシ・ポスター作成、配布、掲示、保健だよりの発行(6回)、熱中症予防およびコロナ対策講習の実施(○)、感染症対策物品の確保(マスク、消毒用アルコール、アクリルパーティション、非接触型体温計等) 次年度も新型コロナウイルス感染防止対策に重点を置く</p> <p>イ. 生徒向け学校教育自己診断における「防災に関する訓練や災害への備えは十分である」の肯定的回答 82%(◎) 防災避難訓練の実施(6/18 避難経路の確認, 9/4 大阪 880 万人訓練, 10/28 防災避難訓練)(○)</p>